

工陵

小山高専だより



ワンダーフォーゲル同好会 北アルプス表銀座縦走



独立行政法人国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

National Institute of Technology, Oyama College

<http://www.oyama-ct.ac.jp/> 旧小山高専だより通刊No.188
※従来の小山高専Quarterlyから工陵-小山高専だよりに変更しました。

Vol.9

2020.3



大いなる科学する者たちへ —お別れの挨拶—

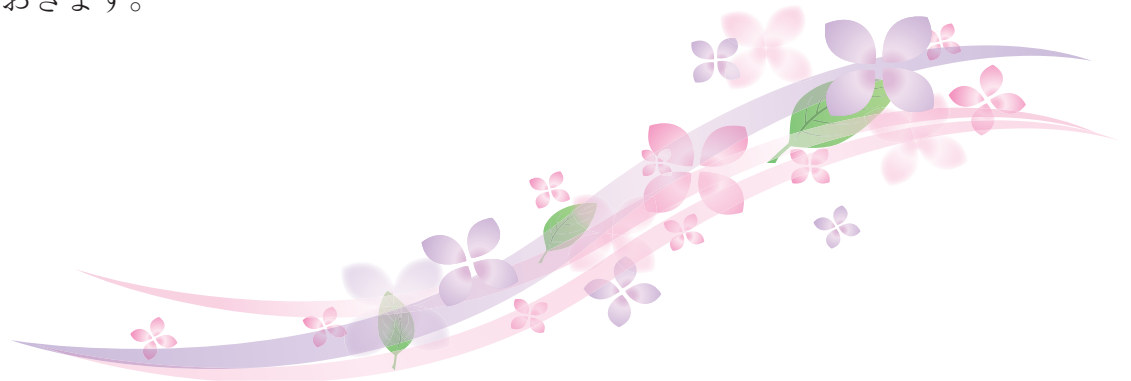
校長 大久保 恵

学生の皆さんは工陵という小山高専に集い、夢を抱いて学んだり、教えたり、あるいは競ったり、支えたり、互いに影響しながら悩みながらも日々成長していると思います。ここ小山高専で学べること、同じ志しの仲間と切磋琢磨できることは長い人生の中では何物にも代えがたい珠玉の時です。そしてその核となるものが「工陵に陽光かがやき、」で始まる本校の校歌ではないかと思われます。歌詞、曲ともに素晴らしく、心から口ずさめる校歌であり、誇りに思える校歌です。是非、これからも校歌を愛唱し、校歌の意図するものを自身の心に刻んで下さい。

間もなく卒業の時期です。卒業生・修了生の皆様には本校を卒業・修了できることで希望に溢れ、自信に満ちていることでしょう。工陵で培った豊かな心と大いなる科学をなさんとする意気込みを一人ひとりの人生で発揮し、歩み続けていただきたいと思います。

私もこの3月をもって本校を卒業です。決められた定年に達し、3月末日をもって工陵にお別れすることになります。多くの学生の皆さんに遭い、希望や考えを伺い、また私の考えもお話しさせていただきました。保護者の皆さまとも交流する機会に恵まれました。教員生活41年の中では小山での6年は短い期間ではありましたが、密度の濃い、充実の時を過ごすことができました。学生の皆さんを初め多くの皆さんに心から感謝を申し上げます。

19回にわたって高専だより「工陵」の巻頭言の執筆を担当してきました。振り返ると、学校方針・教育理念や人財像を述べ、学生としての目標や学習の大切さを説き、学生生活における進路選択、部活動やコンテストを取り上げました。また、中村修二さん、大村智さん、本庶佑さん、吉野彰さんなどその時のノーベル賞受賞者を紹介させていただき、皆さんを大いに鼓舞しました。地元の偉人二宮金次郎や若い天才棋士藤井聡太さんの名前を借り、NHK朝ドラの主題歌もテーマにしたこともありましたが、様々なテーマで19回もの拙稿を綴りましたが、言いたいことは学生の皆さんに対する期待が全てです。大きな期待を込めて書かせていただきました。是非、心の片隅において今後の学生生活に、卒業する方はその先の活動において少しでも生かしていただければ幸いです。ともあれこれまでお読みいただき深く感謝申し上げます。皆様のご健勝と小山高専の発展を願って、ペンをおきます。



卒業生・修了生に贈る言葉

機械工学科

ご卒業おめでとうございます

機械工学科5年担任 今泉 文伸

5年間の高専生活では、楽しいことやつらいこと等、様々なことを経験できたのではないのでしょうか。振り返って考えてみると、そのひとつひとつの経験が、皆さんの財産と思います。これから、君たちは就職し、進学し大人の世界に入っていきます。是非、強い大人になってください。強い大人ってなんなのでしょうか、私から説明します。強い大人っているのでしょうか。実は身近にいます、君たちのご両親がそうです。おそらく、君たちのご両親は20代の若いとき、仕事で楽しいことばかりではなかったでしょう。会社では理不尽に上司に怒ら

れ、失敗も経験したことでしょう。でもどんなに仕事が大変でもつらくても、君たちが小学生のとき、誕生日やクリスマスでは、食卓にケーキがあったと思います。そして、家に帰ってくると最高の笑顔で、「誕生日おめでとう」と、言ってくれた両親の顔を覚えていますか。誕生日にケーキが用意されていることが普通のことではないことに、君たちは気づいてはるはず。強い大人って、家族のために笑顔になれるんです。そんな、君たちのご両親のような強い大人になってください。ご卒業、おめでとうございます。

研究・テーマ一覧

- 五十嵐大夢 LabVIEWを用いたビッグデータの瞬時解析に関する研究
- 手塚大貴 差動型センサを用いた水深測定システムの開発
- 長尾健史 任意の2点間を移動する自律型ロボットの開発
- 鎌田昌吾 熱可塑性炭素繊維強化プラスチック(CFRTP)の機械的性質と積層効果
- 田中瑞樹 負荷および歩行に伴う足アーチ変形の定量的評価
- 三瓶大樹 老朽化建築構造物の欠陥検出および健全性評価システムの開発
- 大谷進之助 往復摩擦・摩耗に及ぼす磁場の影響
- 高橋航希 下肢装具用膝継手の耐久試験について
- 前原翔 磁場環境下におけるフレッティング摩耗現象の観察
- 中村亮斗 材料のヤング率測定法の検討
- 福嶋颯生 円錐型ハンドベルの提案
- 小森谷健太 小型ACVの運動特性に関する研究
- 三原広大 レゴマインドストームEV3を活用した機械工学教材の開発
- 横須賀光 異材接合体の応力特異場の解析
- 藤塚祐二 車両モデルのアクティブサスペンション制御に関する研究
- 金子拓未 単自由度防振座席モデルの動特性
- 熊澤日瑠 非対称歯車の寿命設計
- 小島翔太 非対称プラスチック歯車の設計
- 久田和輝 非対称歯車のたわみと干渉に関する検討

- 池田裕哉 二液モードにおける触媒寿命の評価
- 関口翔斗 一液モードのスラスト予熱温度による即応性への影響評価
- 松本裕樹 推進性能に対する推進剤混合比の影響評価
- 松本雄大 二液モードのスラスト予熱温度による推進性能への影響評価
- 大金禎仁 固体化電解質を用いた色素増感太陽電池の研究
- 神永桂衣 フレキシブル太陽電池を用いた発電デバイスに関する研究
- ルクマン フレキシブル発電素子の高耐久化を目指した研究
- 塩澤颯人 往復運動装置を使ったファインバブルの発生
- 益子颯太・吉田昌也 ハイブリッド型微粒子分離装置の研究
- 田邊一磨 学生実験用粘度測定装置の設計と製作
- 滝川侑弥 ストークス近似を用いた低レイノルズ数自由噴流の理論解析
- 木村翔 テーパ状の円管内を流れる層流理論の改良
- 山中琢朗 子ども向け図書館案内ロボットの製作と読書環境の調査
- 山本宗大 切欠きを2つ有する試験片と破壊断面の評価
- 千葉彰大 SEM観察用小型試験片の製作と機械的性質の評価
- 仲村夏生 航空機の地上走行自動化に向けた基礎研究～GPSを用いた誘導法の検討～
- 小藪江由華 ヒトの動作を検査項目とする性格検査法の開発～歩行動作に基づくグルーピング～
- 寺内颯秀 ホース自動巻き取り機の開発～ねじれ修正機構の設計・製作～



電気電子創造工学科



一歩前に踏み出せ！ Take A Step Forward！

電気電子創造工学科（L）5年担任 サムアンラホック

ご卒業おめでとうございます。入学から卒業までを振り返ってみて、今どんな想いを抱くでしょうか。充実した日々を送って悔いのない人もいれば、まだまだやれることがあったかも知れないと心残りのある人もいます。しかし、皆さんは基礎的な学びからスタートし、いろいろな辛いことを乗り越えて社会に貢献できる研究成果を生み出せるまで成長できたことは事実であり、これらは最も重要な経験です。特に最後の1年間は思い通りに実験結果が得られないことや研究の行き詰まりなどの辛い経験をしたことがあると思

います。これからの就職先、または進学先でもこのようなことに立ち向かわなければなりません。その時は、簡単に諦めずにこれまでの経験を活かして乗り切ってください。

また、社会で生きていくために必要なものは能力、コミュニケーション力だけではなく、愛される力も必要不可欠です。是非、周りの人から愛される人になるように「明るく、楽しく、元気よく」の心を持って、さらに人と人の繋がりを大切にしてください。皆さんのご活躍を期待しております。

新たなスタートに向けて

電気電子創造工学科（R）5年担任 鹿野 文久

卒業おめでとうございます。そして「高専卒業生」というキャリアを手に入れた皆さんの新しいスタートが始まります。

皆さんは高専で5年間学んだ専門の知識と経験を礎に、新たなフィールドで活躍されることと思います。皆さんが学んだ「工学」という分野は人の役に立つものを造る学問として、エジソンの電球の発明のように、ものを造ることによって明るい都市社会をつくることのできるのです。これからの日本は少子高齢化社会が訪れ、新しい道具、例えばロボットや電気自動車、オートパイロットという、より便利な製品が待ち望まれています。皆さんの柔軟な発想力は、これらの開発の中

心として活躍できることでしょう。しかし、これまで工業の発達には公害の発生、資源の浪費、環境破壊や経済格差というような負の側面ももたらしてきました。昨今では国を超えて将来にわたって持続可能な社会を形成する活動が大切になっています。工学という分野を学んだ君たちですから、社会活動の際には今一度、人の役に立つ、人を幸せにする仕事ができているかを考えてみてください。

最後になりますが、ご両親を始め私たち教員、そして多くの社会の人たちが皆さんの今後の活躍を楽しみにしています。



研究・テーマ一覧

[Lクラス]

- 相 京 慎 ARを応用した構内案内システムの開発~ AutoEncoder による位置情報推定のためのノイズ削減~
- 東 昇 吾 ウェブカメラとレーザ測域センサを組み合わせた物体追跡に関する研究
- 飯 塚 啓 人 同一プラットフォームで動作する異なる力覚装置の特性
- 宇 賀 神 魁 電気自動車を用いたオフグリッド電力取引シミュレーション
- 梅 屋 馨 スペクトログラムと Wigner 分布の特徴比較に関する研究
- 小 保 方 俊 介 力覚装置で再現する押下力の相違判断について
- 大 木 悠 生 無線連携による地域防災のためのセンサネットワークの開発
- 太 田 魁 人 集中定数素子型整合回路を用いたダイプレクサの減衰極制御に関する一検討
- 片 山 柗 平 地図構築のための RTK 測位法の調査
- 勝 田 寛 章 Arduino を用いた任意波形出力可能な電源装置の試作と評価
- 菊 地 柗 哉 出前授業用超伝導教材の開発~中学生向け電気特性学習用教材~
- 小 薬 司 家庭用プリンタを用いた微細加工プロセス~フォトレジスト印刷精度の検証~
- 小 松 原 圭 亮 プライベートデータの流通を抑制するカメラ型広域見守りシステムの実装
- 佐藤大幹・柴原直輝 Q スイッチ型マイクロチップレーザの高出力化
- 酒 卷 美 桜 表面実装部品を用いた回路試作に向けたリフロー温度プロファイルの実験的評価
- 柴 田 涼 風 インターネット回線を用いた自律移動ロボットのセンサーモニタリングシステムの構築
- 鈴 木 楓 共鳴型無線給電における効率安定化を図るコイル形状に関する研究
- 鈴 木 優 智 小型誘導システムの姿勢制御
- 鈴 木 悠 太 水中パルス細線放電による衝撃波/高圧力発生における線種の影響
- 砂 田 瑞 樹 IoT 機器による DoS 攻撃の定量化と負荷シナリオの実装
- 五月女智典 出前授業用太陽電池教材の開発~大容量コンデンサを利用した太陽光安定化電源~
- 戸 村 壮 也 ICP アルゴリズムを用いた SLAM の検証
- 田 代 堅 聖 AR を応用した構内案内システムの開発~ CNN による環境特徴量の抽出と判定~
- 太 刀 岡 亨 祐 イヤホンの線材が聴感に与える影響に関する研究
- 竹 澤 日 都 非常用電源システムのための IoT 機器の評価
- 手 塚 雄 太 郎 2 ビーム方式フィゾー干渉計による薄膜表面異物の検出方法
- 寺 島 尚 紀 モバイル OS に依存しない A-txt の開発
- 土 井 蛭 音 同伴者に並走するロボットのための並走アルゴリズムの改良
- 永 井 大 樹 電力 3E を体感して学ぶ教材の開発
- 廣 井 悠 介 清掃ロボット用オゾンミスト散布装置の開発
- 福 田 周 斗 複数の無線タグを用いた屋内位置推定の精度向上に関する研究
- 福 増 武 高低差のある狭所作業用廃炉ロボットの移動機構に関する研究
- 藤 本 辰 紀 ダヴィンチスクリューを用いた水中調査ロボットの開発
- 古 井 海 里 時刻ドリフトと環境温度の相関を用いた機器識別手法
- 宮 坂 弦 共鳴型無線給電における同期整流を用いた受信回路の効率改善に関する研究
- 森 尾 孟 倫 「地域防災情報の見える化」による災害に強い街づくりシステムの開発
- 山 本 輝 弥 加速度センサを用いた建造物のヘルスマニタリングと異常検知
- 若 泉 有 志 DCAF 機能を備えた Multi-DC Tap 方式単相・三相電力変換装置に関する研究

[Rクラス]

- 荒 井 竜 矢 回路シミュレータを用いた風力発電模擬システムの評価
- 粟 野 元 基 Schroeder 法による残響測定に関する研究
- 市 川 伸 Wigner 分布を用いた畳み込みニューラルネットワークによる環境音識別
- 岩 崎 周 馬 燃料電池の安定稼働に向けた自動制御システムの開発
- 鷗 野 直 樹 電磁結合型 BPF とスタブ荷型整合回路を用いたダイプレクサの一検討
- ウメニマケルオステイカチユク パラレルリンクロボットの PD 制御およびトルクフィードフォワード制御による位置決め誤差低減の検証
- 遠 藤 陸 也 水中調査ロボットにおけるヒレ推進機構の試作
- 大 石 元 輝 チップ部品で構成した整合回路を用いた小型トリプレクサの基礎検討
- 太 田 昌 慶 肝臓部分切除領域推定の探索結果の検証
- 大 和 田 一 裕 力覚で再現する触覚特性について
- 岡野礼夢・瀧上幸平 スマールビークルの再構築と評価
- 柏 木 皓 太 L*a*b* 色空間における合成色に関する基礎研究
- 桂 潔 成 クロック信号源の周波数温度特性を利用したデジタル機器の時刻補正技術
- 金 井 由 貴 イコライザを用いた搬送波抑圧方式パラメトリックスピーカーの音質改善
- 川 尻 航 平 亜酸化銅を用いたフレキシブル pn 接合素子~塗布法による NbOx 薄膜の作製~
- 神 原 桃 子 ドップラーレーザを用いた空間振動の計測
- 栗 原 諒 無線データ連携による高性能排気システムの構築
- 後 藤 大 夢 ブートストラップ回路を用いたマルチ DC タップ方式電力変換器に関する研究
- 小 林 玲 仁 パルス細線放電法による水中衝撃波/高圧力の発生
- 佐 藤 卓 磨 OpenPose を用いた身体的障害の検出に関する研究
- 佐 藤 哲 哉 DGPS を用いた自律ナビゲーション法に関する研究
- 雫 晃 輔 ループ閉じ込みを導入した SLAM の検証
- 篠 原 安 呂 葉 IoT 機器向けパッシブ型燃料電池システムの開発
- 関 美 佑 奈 パラメトリックスピーカーを用いた位相差によるオーディオスポット変化に関する研究
- 高 井 淳 光 複数のクロック信号源を用いた相対的特徴量抽出による機器識別手法
- 瀧 上 幸 平 スマールビークルの再構築と評価
- 塚 越 統 哉 インピーダンス変成器に関する電磁界シミュレータを導入した学生実験の一検討
- 天 白 明 音響信号に基づくシンセサイザのパラメータ推定
- 佐 藤 哲 哉 DGPS を用いた自律ナビゲーション法に関する研究
- 栃 木 優 作 CT 画像からの肝臓内血管抽出処理の精度向上に関する研究
- 野 本 逸 実 二層連結タンクのモデル化とコントローラの作成
- 原 田 遊 布を対象としたロボットハンドの開発
- 平 野 大 雅 亜酸化銅を用いたフレキシブル pn 接合素子~熱処理による Cu 箔への Cu2O 層の作製~
- 松 山 凌 分光測色計を用いた古書の年代推定
- 三 室 駿 也 書き込み式授業資料における手書き内容の認識精度向上に関する研究
- 峰 澤 佳 祐 削る動作を再現する力覚システム
- 安 田 良 輝 亜酸化銅を用いたフレキシブル pn 接合素子~塗布法による ZnO 薄膜の作製~
- 山 根 和 Object Detection と Segmentation による個数カウントの開発と評価
- チ ン スマートフォンによる電子投票システムの開発と実践





物質工学科

化学の力

物質工学科5年担任 酒井 洋

卒業おめでとうございます。お疲れさまでした。それぞれ充実した高専生活を送られたことと思います。

皆さんは優秀なので、特に心配はしていないのです。おそらく皆さんはこれから降りかかってくる様々な苦難も何とか乗り越えて、華々しく活躍されることでしょう。そして幸せな人生を歩むことでしょう。

皆さんは化学を学んできました。化学は直接目で見えない「原子・分子」を扱うため、高度な想像力・推論力・論理力が求められます。それと同時に、化学の成果物としては目にはっきりと見える様々な個性を

持った個々の「モノ」として現れてくるので、その多様性を強みとして物事を華麗に実現する力や、単一でない評価軸を提案する力、社会へ与えるインパクトを理解する力が必要となります。個人的には最強の学問だと思えますが、皆さんはその化学を修め、さらに卒業研究で自分の考えで自律的に化学を使うを行いました。社会にとって皆さんは貴重な存在であると同時に、今後の皆さんの仕事において化学が必ず活かされるということを心に留めておいてほしいと思います。それではお元気で。いつかまたお会いしましょう。

研究・テーマ一覧

秋山 直輝	ドデシルトリメチルアンモニウムブロミドとスルホン酸塩の相互作用が界面に及ぼす影響	田嶋 祐彦	酸化チタン中間層の導入によるプラズマ溶射 HAp コーティングの耐久性への影響
朝倉 瑠輝也	熱サイクル条件下で溶融硫酸塩薄膜下における金属材料の耐食性の評価	田中 惇	ジオスゲニンとその配糖体の iPS 細胞への影響
新井 陸音	陽極酸化法により作製した酸化チタン膜の骨伝導能	田中 陽大	ジエンの Wacker 型反応によるジアセタールの合成とその不斉アルドール反応
伊豫部 康大	コーヒー豆滓の示す硝酸性イオン除去能の解析	竹内 悠貴	β -アノマーで配糖体を合成する新規糖転移酵素の探索と微生物反応の検討
飯田 智希	阪臭原因菌を選択的に抑制するハーブ由来抗菌成分の精製条件の検討	中村 明人	共役ジエン類を用いた新規接着材料の開発
板垣 優大	微生物を用いた第三級アルコールへの配糖化に関する研究	生井 嶺也	クエン酸分散水酸アパタイトの水熱処理
岩本 和磨	水酸アパタイト透明薄膜に適したガラス表面処理の検討	廣瀧 蒼介	異なる作製条件で得られたチタン基亜鉛含有コーティングの密着性評価
恵藤 彩夏	ポリアミノ酸含有ブロックポリマーを用いた医療用イオン性微粒子の開発	福田 奏	構造の異なる2つのトルイジン塩酸塩がドデシル硫酸ナトリウムの Gibbs 膜に与える影響
大川 全	抗菌活性を有する植物成分の探索と精製	福本 翔	新規ペロブスカイト $\text{Sr}_{1-x}\text{A}_x\text{Mn}_{0.75}\text{W}_{0.25}\text{O}_{3-\delta}$ (A=Li,La) の合成
岡崎 壘大	レスベラトロールを基質とするアグリコンの複数水酸基への選択的配糖化反応の研究	堀江 尚司	クエン酸添加アパタイトスラリーのナノ粒子制御
岡 悟史	気泡塔型曝気装置における廃水濃度と活性汚泥濃度の相関	松沼 佳南	クエン酸-水酸アパタイトによる透明薄膜の作製
金山 侑加	超臨界二酸化炭素を溶媒とした酵素反応によるグルコースの脱水縮合	三上 つき乃	酸化亜鉛パリスタの電流-電圧特性における粒界相の役割
川田 嘉悠	ヘキサドシルトリメチルアンモニウムクロリドとアニオン性有機塩の相互作用が Gibbs 膜に及ぼす影響	宮崎 壮太	イチゴの <i>Botrytis cinerea</i> 耐性に関する研究
熊久保 涼太	難培養性微生物の生育を促進する植物成分の探索と精製	山崎 健	ヒト腸管モデルを活用した乳酸菌や菌体外多糖の機能的評価
篠崎 惇一	環境低負荷素材を目指したリモネンからなる新規グラフトポリマーの合成	渡邊 結衣	モンモリロナイトによるカチオン性色素の吸着特性と生体高分子膜への固定化
柴田 真輝	異なる温度条件下における海洋性 Anammox 細菌の脱アンモニウム能の比較	渡辺 雄太郎	小山市のハト麦からの発酵性酵母の探索と特性の解析
菅波 夏輝	マイクロフローシステムによるメソ-ジアルヒドの合成とその Evans 型アルドール反応	ピンフォア	山芋抽出物がグリオプラストーマへ与える影響
鈴木 峻真	ドデシル硫酸ナトリウムとフェニレンジアミン二塩酸塩の相互作用による界面への影響	レイ	ペンタンジオールへの Krische アリル化の反応経路の解明
鈴木 渉	熱サイクル条件下溶融塩薄膜下における Al 拡散浸透処理コーティングの耐食性評価		



建築学科

卒業する皆さんへ

建築学科5年担任 佐藤 篤史

ご卒業おめでとうございます。5年間の高専生活の中の2年間ですが、この時間を担任として皆さんと一緒に過ごすことが出来たことを幸運なことと感じています。

皆さんへ贈る言葉として私の日常心がけている数字「3」と「百」にまつわる話をします。今後の新生活で新たな環境に放り込まれ、不安になることも多々出て来ると思います。私も小山高専初出勤の日は不安だらけでした。初めて見る顔の中でウロウロしてしまい、何も出来ない状況でした。その時はとりあえず「3日間」無心で通勤しよう。きっと何かが見えてくるはずだ。と

考えました。すると3日後には最初は見えていなかった周囲の状況が見えてきました。次は3週間、次は3ヶ月、3年…もうベテランです。大抵のことは「時」が解決してくれます。次に百ですが、出来ないことや覚えられない事は多々あると思います。私は最初から出来ないと思い込まないで「なんでも百回！」を心がけています。英単語でも仕事でも百回繰り返せば大抵の事が身につく出来るようになります。こちらは「経験」が解決してくれます。今後次々に押し寄せてくる不安や問題も、きっと「時」や「経験」が解決してくれることでしょう。

研究・テーマ一覧

- | | | | |
|--------|---|--------|---|
| 島田 智貴 | 火山噴火による都市への影響-噴火の仕方とそれに対する対策- | 瀧 沢 魁 | 遷移帯量がコンクリートの基礎性状に及ぼす影響の研究-遷移帯を推測量と基礎物性の関係- |
| 菅 陸人 | ライノセラス及びグラスホッパーを用いた構造最適化 | 福島 健心 | 中性化によるセメントペースト組成物の変化が空隙構造に及ぼす影響-リトベルトを用いた水和物の定量化と空隙構造変化の関係- |
| 鈴木 拓海 | 各種鉄骨部材の温度変化の実測と推定 | 横山 直弘 | カーボンナノチューブを用いた環境負荷低減型スマートコンクリート-高炉スラグ微粉末を用いた場合の電気抵抗特性の把握- |
| 堂本 耕介 | 大スパン構造物に対する温度荷重の影響 | 江島 ありさ | 試行的剛性選択法に適用可能な不安定釣合経路の扱い方の検討 |
| 小島 敬也 | | 井上 奈津実 | 明治から令和へ受け継がれる蔵文化(設計)-板木市藤岡町古民家の実態調査及び利活用の一提案- |
| 長谷川 豪 | もみ灰およびバイオマス発電由来のフライアッシュを用いたモルタルの強度特性に関する実験的研究-養生方法の違いによる強度特性- | 大塚 恭介 | 住宅における太陽エネルギー利用技術・設備の変遷 |
| 橋本 有浩 | | 大橋 港 | 住宅に関する改修工事の文献調査 |
| 白石 菜帆 | RC造有開口袖壁付き柱の曲げ強度に影響を与える開口の位置及び形状の考察 | 鈴木 大介 | 農泊事業や民泊等における事例調査-小山市空家活用の可能性について- |
| 長岡 稜太 | 水辺再編(設計)-「みずまて」による水害地域の新しい水辺空間の提案- | 及川 裕介 | 建築の複合化及び空間計画に関する研究 |
| 前澤 実優 | 灯家(設計)-家族との出会い社会との出会い- | 山崎 海 | パーマカルチャーの視点に基づく環境共生住宅の評価-環境建築要素を用いた分析- |
| 長田 みつき | 近代における洋館に関する基礎的研究 | 神宮 響 | 入居者の生活と開かれた厨房との空間の関係に関する研究-特別養護老人ホームRにおける行動観察調査を通して- |
| 徳竹 智可良 | 下野市の歴史的環境資源の基礎的考察 | 古澤 慎 | はみだし×交わるAgingSociety(設計)-小山市における就労サービス付き高齢者向け住宅- |
| 鈴木 千翔 | 岩槻新八景(設計)-歴史と自然のまち 岩槻- | 武部 大夢 | 無形式の市井(設計) |
| 小倉 大空 | 教室における換気行為と二酸化炭素濃度に関する実測調査 | 鈴木 佐暉子 | 「暮らす」をシェアする街(設計)-「隙間」を活用した人々をつなぐ建築- |
| 関塚 真由 | 照明の色温度及び香気複合刺激が居住者に与える影響-恒温恒湿室における生理・心理反応の実験- | 高橋 碧 | 水溜運(設計)-神奈川県営いちょう団地での多文化共生について- |
| 遠山 尚子 | 脳性麻痺者の冬期温熱環境に関する研究-冬期の生活状況に関する聞き取り調査及び住宅温熱環境の実測調査- | 吉田 健太郎 | 空床が発生する特別養護老人ホームの要因と実態の研究-高齢者が減少する時代が需要の変化に及ぼす影響の考察- |
| 戸張 千聖 | | | |
| 山田 陸馬 | 暖房時のオフィス空間におけるパーティション内の温熱環境について | | |
| 上原 武尊 | TG-DTAを用いた高炉スラグ微粉末の水和反応率の定量化方法の実験的検討-高炉スラグ量に伴う水和率の変化検証- | | |



機械工学コース

ご修了おめでとうございます

機械工学コース主任 今泉 文伸

皆さんは、少数派の強さって知っていますか。これから君たちが経験する大人の世界は、おそらく多くは高校や大学を卒業されている方です。高専特に専攻科を卒業している人の方が少ないのは、言うまでもないでしょう。では、少数派の意見が通らないのは普通なのか、なにごと多数決で決定して良いのかということ、をよく考えてみてください。実は、専攻科を卒業した君たちでしか気づかないこと、達成できないことがあります。本当に大切なことは、少数派だからと言って、自分が正しいと思った考えを曲げないことです。もちろん、自分の考えには論理的な裏付けが必要です。私は専攻科を卒業した君たちは経験と直感だけではない、技術者、研究者としての自分の考えをもてると思います。少数派だからと、それは無理だからと、あきらめの魔法を唱えることは簡単です。でも、その魔法を使ってはいけません。戦ってください、そして勝ち続けてください。勝った人にしか見えない景色があります。いいですね、未来は、君たちのためにあります。決して未来を恐れてはいけません。これから起きる未来の出来事を楽しんでください。ご修了、おめでとうございます。

研究・テーマ一覧

- 小 峯 柊 蔵 熱可塑性炭素繊維強化プラスチック (CFRTP) の損傷と機械的性質
- 中 村 智 貴 軸力とねじりを受ける切欠付オーステナイト系ステンレス鋼配管の塑性崩壊評価
- 黒 川 侑 暉 ナノ高分散 C60 フラーレンを用いたバルクヘテロ薄膜太陽電池の高効率化
- 塚 田 賢 一 スマートウィンドウの開発に向けたエレクトロクロミックデバイスの作製
- 三 室 龍 也 有機無機ハイブリッド熱電変換素子の高性能化に関する研究



電気電子創造工学コース

自分を動かすのは自分

電気電子創造工学コース主任 平田 克己

専攻科修了おめでとうございます。

2年前に本科を卒業して同じ学校で2度目の卒業(修了)になりますね。これで長かった学校生活を終えて就職する人もいますし、新たな環境で引き続き学生生活を送る人もいます。皆さんはゴールを迎えると同時に、新たなスタートラインに立ちます。長い高専生活の中で、楽しかったことがたくさんあったでしょう。その一方で、試験やレポートなど、つらかった思い出もいっぱいあると思います。また、電気電子創造工学科および電気電子創造工学コースの1期生として、いろいろと不便なこともあったかもしれません。しかしこの先、もっとたくさんのもっと難しい困難に立ち向かうことになると思います。そのような壁を越えるために重要なものの一つが、「モチベーション」です。皆さんは様々な困難に打ち勝つための基礎力は身につけているはず。あとは、モチベーション。自分の好きなこと、必要と感じていることに対してなら、必ずその困難に立ち向かうことができるはず。皆さんには常に「自分は何がやりたいのか?」「今やっていることが何のためになるのか?」を考えながら様々な問題に取り組んで欲しいと思います。最終的に自分を動かすのは自分です。自分を信じて突き進んでください。もし迷ったときには、やらないで後悔するよりもやってみて後悔することをお勧めします。

皆さんの今後の活躍を祈っています。

研究・テーマ一覧

- 小 野 翔 平 肝臓外科手術における最適部分切除領域探索のマルチスレッド化に関する検討
- 木 村 優 太 郎 レーザ反射強度を用いた路面状態の識別
- 齋 藤 洸 移動ロボットを用いた路面情報と占有格子地図を融合した環境地図の構築
- 酒 井 駿 手書きノート画像の特徴量に基づいたモデルノート画像生成に関する研究
- 鈴 木 雅 人 組み込みコンピュータを用いた低コスト異常検知システムの実装と評価
- 高 橋 怜 雅 フルートの演奏技術が音色に与える影響に関する研究
- 中 嶋 一 晴 自動走行制御に向けた GPS コンパスの精度検証に関する研究
- 根 本 駿 介 太陽電池を動力とした脱気筒の無線温度湿度データ伝送
- 巻 島 大 祐 直流磁界共鳴型無線電力給電における送信回路の改良
- 茂 呂 涼 真 電界結合型無線電力伝送における電極形状と共振周波数の関係性の検討
- 山 口 拓 海 無教師特徴量表現学習に関する研究
- 六 本 木 大 志 ガウシアン損失関数を用いたノンパラメトリック機械学習



物質工学コース

夢をかなえてください

物質工学コース主任 田中 孝国

専攻科修了おめでとうございます。修了した皆さんは、就職する人、進学する人、関係なく新たなスタートラインが目の前に近づいています。本科から専攻科へ進学する時とは異なり、全員が新しい環境でイチから人間関係を築き上げることになります。期待しつつも若干不安な皆さんだと思いますが、専攻科までに蓄積した様々な経験や知識、コミュニケーション能力があれば問題ありません。

その一方で、更に高みを目指すには、勉強を自らの意思で行う必要が生じてきます。これまで通りの受け身(違っていただけすみません)のままだと、折角専攻科まで積み上げてきた個々の才能の成長が止まってしまうことになります。自分で夢(目標)を設定し、また積み上げて行くことが必要です。皆さんは、数年後、数十年後の長期にわたる夢を考えることをお奨めします。考えたらずに紙に書いて貼りだし、すぐに実現に向けて行動を開始してください。でないと夢は、妄想に変わってしまいます。

修了後しばらくたった皆さんが夢をかなえ、成長した姿を見せに来るのを、教職員一同楽しみにしています。最後になりましたが、修了する皆さんの今後のご健康とご健闘を祈ります。

研究・テーマ一覧

- | | |
|-------|--|
| 川北 陸 | 新規生体材料として期待されるムチンと細胞膜モデルの相互作用に与える影響 |
| 川津 匡吾 | イリジウム触媒による水素移動を經由したジオールの立体選択的アリル化 |
| 勝 悠奈 | 医療分野への展開を目指した複数のイオン性ポリアミン鎖を有するブロックポリマーの合成と応用 |
| 田崎 朱里 | 分岐型 PEG 鎖を有する機能的ブロックポリマーの精密合成とそれらの有用性評価 |
| 藤崎 智行 | テンプレートを導入した酵素酸化反応による導電性ポリアニリンの合成 |



建築学コース

早く一級を

建築学コース主任 堀 昭夫

今春から実務経験を経ずとも一級建築士を受験できるようになりましたね。直近のデータでは、合格者の23% [24%] が24 - 26才 [27 - 29才]でしたが、これが20才(高専卒)から受験できるようになりました。これまでの修了卒は設計意匠系以外だと受験が26才以降になったと思われるので、一級建築士試験合格者の多くが若干の受験回数で合格してきた、と思わせるデータです。

ということは…早めに勉強して早めに受かりましょう。勤めて最初の頃なら(実は新入社員は狙い目です)仕事もまだ忙しくなく、建築士の勉強と宣言して、早く帰って勉強しましょう。そしてこの手が使えるのはせいぜい1 - 2年ででしょうから、その間に受ければ文句なしです。過去に私が初めて受けた時には、周囲がおじさんばかりで驚いた記憶があります。そして思いました、この人達は今年も落ちるから実際の合格率は倍だなど。さらに思いました、仕事で勉強できてない人がいるから、実際の合格率は2×2=4倍だなど。つまり、やれば受かると思って勉強してください。それが早道です。受かる気で受けて下さい。吉報をお待ちしております。

研究・テーマ一覧

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 大澤 健人 | 国内の衣服店舗の内観デザインに関する印象調査と実態 |
| 齋藤 舞 | 大崎園 11 の茶室における立面・3次元復元からみる松平不昧の茶室 |
| 外赤 大吾 | 足利における伝統的町並みの残存状況と都市復原の基礎的考察 |
| 橋本 佳奈 | 旧栃木町における伝統的町並みの残存状況と写真資料の考察 |



学生表彰者一覧



No.	学年	学 科	学生氏名	推 薦 理 由	表彰名	個人・団体の別
1	1 年	機 械	犬 飼 侑 樹	・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子 4×400m リレー」で第 2 位。 ・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」。 ・第 60 回栃木県高等学校総合体育大会陸上競技大会において「男子 4×400m リレー」で第 7 位。 ・第 59 回栃木県高等学校新人陸上競技大会において「男子 4×400m リレー」で第 8 位。	奨励賞	個人
2	1 年	機 械	木 村 琉 暉	・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。 ・第 59 回栃木県高等学校新人陸上競技大会において「男子 4×400m リレー」で第 8 位。	奨励賞	団体
3	1 年	機 械	小 島 侑 也	・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体
4	1 年	機 械	佐 藤 匠 匠	第 63 回日本学生科学賞栃木県展覧会（主催栃木県教育委員会、読売新聞社）高校の部において、最優秀賞（県議会議長賞）を受賞。	優秀賞	団体
5	1 年	機 械	佐 藤 倫 人	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
6	1 年	機 械	村 上 智 也	・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体
7	1 年	電気電子創造	阿 部 倫 大	「あつまれ！ボランティアの森」チームは全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）第 30 回都城大会にて、課題部門の予選を突破し、全国大会である本選において活躍し、敢闘賞を授与された。	奨励賞	団体
8	1 年	電気電子創造	印 南 諒 祐	「DLMS ドローンによる線路監視システム」チームは全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）第 30 回都城大会にて、自由部門の予選を突破し、全国大会である本選において、栄えある企業賞「東芝 IT サービス社賞」を受賞した。	優秀賞	団体
9	1 年	電気電子創造	小 倉 秀 路	「DLMS ドローンによる線路監視システム」チームは全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）第 30 回都城大会にて、自由部門の予選を突破し、全国大会である本選において、栄えある企業賞「東芝 IT サービス社賞」を受賞した。	優秀賞	団体
10	1 年	電気電子創造	川 島 由 大	・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体
11	1 年	電気電子創造	川 俣 天 広	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
12	1 年	電気電子創造	狭 山 弘 次	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
13	1 年	電気電子創造	関 根 龍 充	「DLMS ドローンによる線路監視システム」チームは全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）第 30 回都城大会にて、自由部門の予選を突破し、全国大会である本選において、栄えある企業賞「東芝 IT サービス社賞」を受賞した。	優秀賞	団体
14	1 年	電気電子創造	高 橋 来 生	「あつまれ！ボランティアの森」チームは全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）第 30 回都城大会にて、課題部門の予選を突破し、全国大会である本選において活躍し、敢闘賞を授与された。	奨励賞	団体
15	1 年	電気電子創造	田 村 哲	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
16	1 年	電気電子創造	寺 内 健 真	・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体
17	1 年	電気電子創造	富 高 陽	「あつまれ！ボランティアの森」チームは全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）第 30 回都城大会にて、課題部門の予選を突破し、全国大会である本選において活躍し、敢闘賞を授与された。	奨励賞	団体
18	1 年	電気電子創造	中 島 颯 祐	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
19	1 年	電気電子創造	藤 見 も も	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
20	1 年	電気電子創造	宮 山 昇 太 郎	第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体
21	1 年	物 質	近 藤 大 翔	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子 100m 平泳ぎ 3 位	奨励賞	個人
22	1 年	物 質	宮 堀 明 香	「あつまれ！ボランティアの森」チームは全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）第 30 回都城大会にて、課題部門の予選を突破し、全国大会である本選において活躍し、敢闘賞を授与された。	奨励賞	団体
23	1 年	建 築	伊 藤 輝 人	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
24	1 年	建 築	篠 崎 万 葉	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会柔道競技女子 2 位	奨励賞	個人
25	1 年	建 築	根 岸 息 吹	第 7 1 回書初展において、小山地区審査会による審査の結果、金賞を受賞。	奨励賞	個人
26	1 年	建 築	武 藤 仁 也	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
27	2 年	機 械	伊 勢 川 真 生	・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子走幅跳」で第 2 位。 ・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」。 ・第 59 回栃木県高等学校新人陸上競技大会において「男子 4×400m リレー」で第 8 位。	奨励賞	個人
28	2 年	機 械	釜 井 駿 太 朗	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
29	2 年	機 械	佐 藤 匠 真	関東信越地区体育大会バドミントン競技男子団体優勝	優秀賞	団体
30	2 年	機 械	篠 原 大 夢	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
31	2 年	機 械	清 水 由 彦	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
32	2 年	機 械	杉 本 有 佑	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
33	2 年	機 械	鈴 木 涼 佑	第 53 回工務祭の実行委員会の渉外局スポンサー長として、工務祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
34	2 年	機 械	染 谷 佳 輝	第 53 回工務祭の実行委員会の企画局チャリティー長として、イベントの企画運営を行い、工務祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
35	2 年	機 械	森 田 拓 海	第 53 回工務祭の実行委員会の企画局夜祭長として、夜祭の企画運営を行い、工務祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
36	2 年	機 械	劉 賢	第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体
37	2 年	電気電子創造	天 野 史 敬	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子 200m 平泳ぎ 3 位	奨励賞	個人
38	2 年	電気電子創造	枝 祐 助	「DLMS ドローンによる線路監視システム」チームは全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）第 30 回都城大会にて、自由部門の予選を突破し、全国大会である本選において、栄えある企業賞「東芝 IT サービス社賞」を受賞した。	優秀賞	団体
39	2 年	電気電子創造	岡 田 篤 典	副会長として、会長の業務をサポートはもちろん、他の局長の支援に尽力した。	奨励賞	個人
40	2 年	電気電子創造	亀 井 温 由 樹	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
41	2 年	電気電子創造	後 藤 壮 晴	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
42	2 年	電気電子創造	竹 澤 小 径	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
43	2 年	電気電子創造	本 澤 聡 一 郎	「あつまれ！ボランティアの森」チームは全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）第 30 回都城大会にて、課題部門の予選を突破し、全国大会である本選において活躍し、敢闘賞を授与された。	奨励賞	団体
44	2 年	電気電子創造	本 橋 優 綺	・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体
45	2 年	電気電子創造	矢 川 大 斗	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
46	2 年	電気電子創造	山 村 琉 空	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
47	2 年	物 資	齋 藤 祥	・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。 ・第 59 回栃木県高等学校新人陸上競技大会において「男子 4×400m リレー」で第 8 位。	奨励賞	団体
48	2 年	物 質	熱 海 彩 乃	関東信越地区体育大会バドミントン競技女子団体準優勝	奨励賞	団体

No.	学年	学 科	学 生 氏 名	推 薦 理 由	表彰名	個人・団体の別
49	2 年	物 質	関 咲 侑 花	「令和元年度第 39 回全国高校生読書体験コンクール」(一橋芸芸教育振興会主催)において、「入選」に選考された。この賞は、橋木ベスト 5 に相当する価値ある賞である。	奨励賞	個人
50	2 年	物 質	高 木 日 香 留	全国高等専門学校体育大会剣道競技女子個人において優勝(2 連覇)。	優秀賞	個人
51	2 年	物 質	津 浦 百 花	第 63 回日本学生科学賞栃木県展覧会(主催栃木県教育委員会、読売新聞社)高校の部において、最優秀賞(県議会議長賞)を受賞。	優秀賞	団体
52	2 年	物 質	土 屋 美 雨	第 63 回日本学生科学賞栃木県展覧会(主催栃木県教育委員会、読売新聞社)高校の部において、最優秀賞(県議会議長賞)を受賞。	優秀賞	団体
53	2 年	物 質	仲 若 葉	関東信越地区体育大会バドミントン競技女子団体優勝	奨励賞	団体
54	2 年	物 質	仲 若 葉	第 3 4 回関東信越地区高等専門学校英語弁論大会において 3 位入賞。	優秀賞	個人
55	2 年	物 質	山 極 空 美	第 63 回日本学生科学賞栃木県展覧会(主催栃木県教育委員会、読売新聞社)高校の部において、最優秀賞(県議会議長賞)を受賞。	優秀賞	団体
56	2 年	物 質	渡 部 可 奈 子	第 63 回日本学生科学賞栃木県展覧会(主催栃木県教育委員会、読売新聞社)高校の部において、最優秀賞(県議会議長賞)を受賞。	優秀賞	団体
57	2 年	建 築	中 山 昂 大	・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会「男子三段跳」で第 3 位。 ・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」。	奨励賞	個人
58	2 年	建 築	牧 野 加 奈	副会長として、会長の業務をサポートはもちろん、他の局長の支援に尽力した。	奨励賞	個人
59	2 年	建 築	守 谷 恵 人	・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会「男子 4 × 400m リレー」で第 2 位。 ・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」。 ・第 60 回栃木県高等学校総合体育大会陸上競技大会において「男子 4 × 400m リレー」で第 7 位。	奨励賞	個人
60	3 年	機 械	菊 池 蓮	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
61	3 年	機 械	小 池 邦 佳	・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会「男子 4 × 100m リレー」で第 2 位。 ・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会「男子 4 × 400m リレー」で第 2 位。 ・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」。 ・第 60 回栃木県高等学校総合体育大会陸上競技大会において「男子 4 × 400m リレー」で第 7 位。	奨励賞	個人
62	3 年	機 械	佐 藤 聡 一 郎	・第 70 回関東高等学校選手権水泳競技大会 男子 400m 個人メドレー 3 年連続出場 令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子 4 × 100m リレー 1 位(大会新記録)、男子 4 × 100m フリール 1 位(大会新記録) 男子 100m フリール 1 位個人 3 回優勝 特別表彰受賞、男子 200m 個人メドレー 1 位 ・第 54 回全国高等専門学校体育大会水泳競技 男子 4 × 100m フリール 1 位、男子 4 × 100m リレー 3 位、男子 200m 個人メドレー 3 位(3 年連続出場)	優秀賞	個人
63	3 年	機 械	鈴 木 峻 介	「ロボットアイデア甲子園北関東大会」において、「小山市長賞」を受賞。	奨励賞	個人
64	3 年	機 械	鈴 木 結 以	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
65	3 年	機 械	中 嶋 匠	学生会執行部の広報局長として尽力した。	奨励賞	個人
66	3 年	機 械	藤 本 一 毅	・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会「男子 4 × 400m リレー」で第 2 位。 ・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」。 ・第 60 回栃木県高等学校総合体育大会陸上競技大会において「男子 4 × 400m リレー」で第 7 位。	奨励賞	個人
67	3 年	電 気 電 子 創 造	酒 井 祐 介	関東信越地区体育大会バドミントン競技男子団体優勝	優秀賞	団体
68	3 年	電 気 電 子 創 造	阪 倉 碧	第 53 回工務祭の実行委員会の環境長として、県南保健所の指摘をもとに、全飲食企画をまとめ上げ、当日は食中毒や飲食関係のトラブルも 1 件もなく、工務祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
69	3 年	電 気 電 子 創 造	五 月 女 流 人	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
70	3 年	電 気 電 子 創 造	館 野 桜	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
71	3 年	電 気 電 子 創 造	田 中 千 智	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 女子 200m メドレーリレー 3 位	奨励賞	団体
72	3 年	電 気 電 子 創 造	田 宮 アルトウロ 颯	第 53 回工務祭の実行委員会の広報長として、今年度工務祭のポスター・パンフレットの作成及び、とりまとめを行い、工務祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
73	3 年	電 気 電 子 創 造	田 宮 アルトウロ 颯	文発実行委員会渉外課課長として尽力した。	奨励賞	個人
74	3 年	電 気 電 子 創 造	新 田 大	第 53 回工務祭の実行委員会の副委員長として、主に物品を中心として、全般のサポートを行い、工務祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
75	3 年	電 気 電 子 創 造	根 本 桂 甫	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
76	3 年	電 気 電 子 創 造	野 口 竜 星	関東信越地区体育大会バドミントン競技男子団体優勝	優秀賞	団体
77	3 年	電 気 電 子 創 造	萩 原 伶 太	「D L M S ドローンによる線路監視システム」チームは全国高等専門学校プログラミングコンテスト(高専プロコン)第 30 回都城大会にて、自由部門の予選を突破し、全国大会である本選において、栄えある企業賞「東芝 IT サービス社賞」を受賞した。	優秀賞	団体
78	3 年	電 気 電 子 創 造	松 田 夏 紀	学生会執行部の会計局長として尽力した。	奨励賞	個人
79	3 年	電 気 電 子 創 造	渡 邊 海 斗	2018 年度後半から 2019 年度に渡り、小山高専の高専プログラミングコンテストプロジェクトにおけるリーダーとして強いリーダーシップと高いアクティビティを発揮した。今年は課題部門、自由部門、競技部門の全部門 3 チームにおいて全国大会へ進む快挙で、更に自由部門の特別賞(企業賞)も得ており、近年稀に見る成果を達成した。	功績賞	個人
80	3 年	物 質	石 井 翔 大	・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会「男子 1500m」で第 3 位。 ・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」。	奨励賞	個人
81	3 年	物 質	大 塚 日 々 菜	第 53 回工務祭の実行委員会の設備局物品長として設備局員をまとめ上げ、4 月当初の準備から当日運営まで継続的に貢献して、当日の運営に大きなトラブルなく全企画をまとめ上げた。	奨励賞	個人
82	3 年	物 質	小 山 晃 生	学生会執行部の庶務局長として尽力した。	奨励賞	個人
83	3 年	物 質	早 乙 女 光 紀	第 53 回工務祭の実行委員会の花火局長として委員をまとめ、第 53 回工務祭の 1 つの目玉である花火を見事に成功に導いた。	奨励賞	個人
84	3 年	物 質	早 乙 女 光 紀	文発実行委員会企画課課長として尽力した。	奨励賞	個人
85	3 年	物 質	松 元 優 斗	・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会「男子走幅跳」で第 3 位。 ・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」。	奨励賞	個人
86	3 年	物 質	三 上 久 理 守	第 53 回工務祭の実行委員会の渉外局駐車場長として、工務祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
87	3 年	物 質	渡 邊 江 利 子	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会柔道競技女子 2 位	奨励賞	個人
88	3 年	建 築	青 柳 篤 広	全国高等専門学校デザインコンペティション空間部門において、予選 1 3 3 の応募作品の中から、上位 1 0 作品に選定され、全国大会へ出場した。	優秀賞	団体
89	3 年	建 築	荒 川 龍 弥	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
90	3 年	建 築	生 田 岳 士	第 62 回全国空手道選手権大会高校団体組手準優勝	優秀賞	個人
91	3 年	建 築	久 納 翔 太	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
92	3 年	建 築	白 石 千 通	第 53 回工務祭の実行委員会の渉外局広報として、工務祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
93	3 年	建 築	野 田 美 樹	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 女子 200m メドレーリレー 3 位	奨励賞	団体
94	4 年	機 械	大 島 寿 規	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
95	4 年	機 械	岡 崎 里 音	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会柔道競技女子 2 位	奨励賞	個人
96	4 年	機 械	岡 崎 里 音	・全国高等体育大会陸上競技大会(2019(広島)、2018(熊本)、2017(長野))に「女子砲丸投」で通算 3 回出場。 ・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会「女子砲丸投」で第 2 位。	優秀賞	個人
97	4 年	機 械	小 曾 根 蒼	令和元年度の学生会会長として、リーダーシップを発揮し、学生会の組織運営に尽力した。	功績賞	個人
98	4 年	機 械	ク ラ イ ン マ キ シ ミ リ ア ン 拓 哉	・全国高等体育大会陸上競技大会に「男子 4 × 100m リレー」で通算 4 回出場。 ・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会「男子 4 × 100m リレー」第 2 位。 ・第 56 回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」。	優秀賞	個人
99	4 年	機 械	篠 崎 直 紀	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技、男子個人戦 3 位入賞。	奨励賞	個人
100	4 年	機 械	瀧 本 一 真	第 54 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
101	4 年	機 械	塚 龍 佑	校内球技大会実行委員長として前期と後期の球技大会の準備、および当日運営に尽力した。	奨励賞	個人
102	4 年	機 械	塚 田 隼 介	クラス代表委員会の委員長として尽力した。	奨励賞	個人
103	4 年	機 械	中 池 勇 貴	関東信越地区体育大会バドミントン競技男子団体優勝	優秀賞	団体

No.	学年	学 科	学 生 氏 名	推 薦 理 由	表彰名	個人・団体の別
104	4 年	機 械	初 谷 直 春	・令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子 4 × 100m リレー 1 位 (大会新記録)、男子 4 × 100m フリー 1 位 (大会新記録) 男子 100m 自由形 1 位 (大会新記録) ・第 54 回全国高等専門学校体育大会水泳競技 男子 4 × 100m フリー 1 位、男子 4 × 100m リレー 3 位、 男子 100m 自由形 3 位	優秀賞	個人
105	4 年	機 械	渡 邊 広 大	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会柔道競技男子 3 位	奨励賞	個人
106	4 年	電気電子創造	荒 川 龍 磨	第 54 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
107	4 年	電気電子創造	栗 野 豪 隆	第 53 回工農祭の実行委員会の会計局長として、年間を通じて工農祭関係の会計処理を行い、工農祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
108	4 年	電気電子創造	大 岡 拓 夢	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。 さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
109	4 年	電気電子創造	柿 木 広 人	第 121 回工業英語能力検定 3 級を受験し、最も優秀な成績で合格したことにより文部科学大臣賞を受賞した。	優秀賞	個人
110	4 年	電気電子創造	北 山 未 羽	ロボットアイデア甲子園北関東大会 (11/16) 最優秀賞受賞	優秀賞	個人
111	4 年	電気電子創造	桑 原 雅	青嵐祭 (小山高専学生祭) 令和元年度前期および後期女子祭長として、1 年間その任務を全うした。	奨励賞	個人
112	4 年	電気電子創造	桑 原 雅	文発実行委員会施設課課長として尽力した。	奨励賞	個人
113	4 年	電気電子創造	柴 田 真 澄	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
114	4 年	電気電子創造	高 岩 尚 輝	関東信越地区体育大会バドミントン競技男子団体優勝	優秀賞	団体
115	4 年	電気電子創造	高 橋 魁 晟	第 53 回工農祭実行委員長として実行委員をまとめ、第 53 回工農祭の準備および当日運営に貢献した。	功績賞	個人
116	4 年	電気電子創造	藤 崎 梨 奈	文発実行委員会広報課課長として尽力した。	奨励賞	個人
117	4 年	電気電子創造	宮 永 健 吾	選挙管理委員会の委員長として尽力した。	奨励賞	個人
118	4 年	物 質	石 川 大 空	第 53 回工農祭の実行委員会の庶務局企画課として、主に環境を中心として、全般のサポートを行い、工農祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
119	4 年	物 質	石 川 大 空	第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体
120	4 年	物 質	大 関 康 生	第 6 6 回小山市文化祭 (主催: 小山市文化協会) 写真の部において、最高位の賞である「文化祭賞」を受賞した。	奨励賞	個人
121	4 年	物 質	小 林 稜	第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体
122	4 年	物 質	四 家 豊 加	・令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子 4 × 100m リレー 1 位 (大会新記録)、男子 4 × 100m フリー 1 位 (大会新記録) 男子 400m 自由形 1 位、男子 800m 自由形 1 位個人 3 回優勝で特別表彰受賞 ・第 54 回全国高等専門学校体育大会水泳競技 男子 4 × 100m フリー 1 位、男子 4 × 100m リレー 3 位、男子 400m 自由形 3 位、男子 800m 自由形 1 位	優秀賞	個人
123	4 年	物 質	出 野 海 優	第 53 回工農祭の実行委員会の庶務局企画課として、工農祭の HP の随時更新や、花火・夜祭・ステージ等の音響設備の仕事をそつここなし、工農祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
124	4 年	物 質	畑 中 杏 樹	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 女子 200m メドレーリレー 3 位	奨励賞	団体
125	4 年	物 質	横 田 和 己	学生会執行部の技術局長として尽力した。	奨励賞	個人
126	4 年	建 築	アバロス隆司 アンドレ光	全国高等専門学校デザインコンペティション空間部門において、予選 1 3 3 の応募作品の中から、上位 1 0 作品に選定され、全国大会へ出場した。	優秀賞	団体
127	4 年	建 築	大 根 田 光 輝	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会ソフトテニス競技、男子個人戦 3 位入賞。	奨励賞	個人
128	4 年	建 築	亀 田 拓 磨	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
129	4 年	建 築	木 村 龍 汰 朗	青嵐祭 (小山高専学生祭) の令和元年度前期および後期祭長として、1 年間その任務を全うした。	功績賞	個人
130	4 年	建 築	佐 々 木 遼 大	第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体
131	4 年	建 築	平 美 月	関東信越地区体育大会バドミントン競技女子ダブルス優勝	優秀賞	個人
132	4 年	建 築	平 美 月	関東信越地区体育大会バドミントン競技女子団体準優勝	奨励賞	団体
133	4 年	建 築	野 口 はるか	令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 女子 200m メドレーリレー 3 位	奨励賞	団体
134	4 年	建 築	茂 呂 陽 真 人	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
135	4 年	建 築	山 尾 柗 人	第 5 4 回全国高等専門学校体育大会兼第 5 2 回全国高等専門学校サッカー選手権大会第 3 位	優秀賞	団体
136	4 年	建 築	渡 邊 寿 々 佳	昨年度工農祭実行委員会の物品長の経験を活かし、今年度の物品長をサポートし、4 月初の準備から当日運営まで継続的に貢献して、当日の運営に大きなトラブルなく全企画をまとめ上げた。	奨励賞	個人
137	5 年	機 械	高 橋 航 希	・令和元年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 男子 4 × 100m リレー 1 位 (大会新記録)、男子 4 × 100m フリー 1 位 (大会新記録)、男子 100m 平泳ぎ 1 位 男子 200m バタフライ 1 位 ・第 54 回全国高等専門学校体育大会水泳競技 男子 4 × 100m フリー 1 位、男子 4 × 100m リレー 3 位、男子 100m 平泳ぎ 1 位 (大会新記録)、 男子 200m バタフライ 2 位	優秀賞	個人
138	5 年	機 械	田 中 瑞 樹	・全国高専体育大会陸上競技大会 (2019 (広島)、2018 (熊本)、2017 (長野)) に「男子砲丸投」で通算 3 回出場。 ・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子砲丸投」で優勝。 ・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子円盤投」で第 2 位。 ・第 54 回全国高等専門学校体育大会陸上競技大会「男子円盤投」第 5 位入賞。 ・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」であった。	優秀賞	個人
139	5 年	機 械	手 塚 大 貴	大学コンソーシアムとちぎ学生 & 企業研究発表会 日刊工業新聞モノづくり地域貢献賞受賞	優秀賞	個人
140	5 年	機 械	長 尾 健 史	・全国高専体育大会陸上競技大会に「男子 4 × 100m リレー」で通算 4 回出場。 ・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子 4 × 100m リレー」第 2 位。 ・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会において「男子総合第 2 位」。	優秀賞	個人
141	5 年	機 械	仲 村 夏 生	青嵐祭 (小山高専学生祭) 令和元年度前期および後期指導祭生として、その任務を全うした。	奨励賞	個人
142	5 年	機 械	仲 村 夏 生	高専ロボコン 2019 関東甲信越地区大会にて B チームは優勝、A チームは準優勝に入賞。さらに、B チームは高専ロボコン 2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、A チームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員が A、B チームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
143	5 年	機 械	仲 村 夏 生	5 年間ロボコンプロジェクト活動に積極的に参加し大会では優秀な成績を収めた。さらに、それらの経験を活かし、県内外でのロボット実演活動を通じて全国的な高専ロボコンの P R 活動、および地域の様々な科学技術イベント、小中学校、科学館等における教育・文化の支援活動において多に貢献した。	功績賞	個人
144	5 年	機 械	横 須 賀 光	関東信越地区体育大会バドミントン競技男子団体優勝	優秀賞	団体
145	5 年	機 械	横 須 賀 光	関東信越地区体育大会バドミントン競技男子シングルス第 3 位	奨励賞	個人
146	5 年	機 械	吉 田 昌 也	青嵐祭 (小山高専学生祭) 令和元年度前期および後期指導祭生として、その任務を全うした。	奨励賞	個人
147	5 年	電気電子創造	栗 野 元 基	第 53 回工農祭の実行委員会の全体補佐として、花火を中心として、全般のサポートを行い、工農祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
148	5 年	電気電子創造	栗 野 元 基	米国電気学会 (IEEE) の CASSociety の台湾セクションおよび日本セクションが相互に開催する電子回路とシステムの国際会議 TJCAS2019 (The 5th Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems) において、投稿論文発表を行い、学生奨励賞 (Student Encouragement Award) を受賞した。	優秀賞	個人
149	5 年	電気電子創造	ウメイニ・マイケル・オネディカチュク	第 1 6 回学生 & 企業研究発表会において研究奨励賞を受賞した。	奨励賞	個人
150	5 年	電気電子創造	遠 藤 陸 也	令和元年 12 月 15 日 (日) に福島県稲葉遠隔技術開発センターにおいて開催された「第 4 回廃炉創造ロボコン」において、本学生チーム (ロボット名: サンダーベルト V) が「優秀賞 (福島県知事賞)」を受賞した。令和元年 8 月 25 日 (日) に神奈川県立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 横浜本部で開催された「水中ロボットコンベンション in JAMSTEC 2019 - 海と日本プロジェクト -」部門において本学生チーム (ロボット名: マリンドリンチコプター) が「準優勝」に入賞した。	優秀賞	団体
151	5 年	電気電子創造	大 木 悠 生	大学コンソーシアムとちぎ学生 & 企業研究発表会企業賞受賞	優秀賞	個人
152	5 年	電気電子創造	柏 木 皓 太	米国電気学会 (IEEE) の CASSociety の台湾セクションおよび日本セクションが相互に開催する電子回路とシステムの国際会議 TJCAS2019 (The 5th Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems) において、投稿論文発表を行い、学生奨励賞 (Student Encouragement Award) を受賞した。	優秀賞	個人
153	5 年	電気電子創造	神 原 桃 子	青嵐祭 (小山高専学生祭) 令和元年度前期および後期指導祭生として、その任務を全うした。	奨励賞	個人
154	5 年	電気電子創造	神 原 桃 子	関東信越地区体育大会バドミントン競技女子ダブルス優勝	優秀賞	個人
155	5 年	電気電子創造	神 原 桃 子	関東信越地区体育大会バドミントン競技女子団体準優勝 関東信越地区体育大会バドミントン競技女子シングルス準優勝	奨励賞	団体
156	5 年	電気電子創造	栗 原 諒	・第 56 回関東信越地区高専体育大会陸上競技大会「男子総合第 2 位」。	奨励賞	団体

No.	学年	学 科	学 生 氏 名	推 薦 理 由	表彰名	個人・団体の別
157	5 年	電気電子創造	小松原 圭亮	学術研究活動において下記の優れた業績を挙げ、本校の名誉を高めた。 1.学術研究活動とその積極的な成果発表（国際会議1件、国内学会1件） 2.2019年度高専ワイヤレスIoT技術実証コンテストへの応募、一次審査突破、プレゼンテーション審査での発表（プレゼンターとして登壇） 3.国際交流のアクティビティ：留学生のチューター、トピタ！留学 JAPAN 一次審査突破	奨励賞	個人
158	5 年	電気電子創造	柴田 涼風	第16回学生&企業研究発表会において研究奨励賞を受賞した。	奨励賞	個人
159	5 年	電気電子創造	鈴木 楓	第54回全国高等専門学校体育大会兼第52回全国高等専門学校サッカー選手権大会第3位	優秀賞	団体
160	5 年	電気電子創造	鈴木 悠太	第54回全国高等専門学校体育大会兼第52回全国高等専門学校サッカー選手権大会第3位	優秀賞	団体
161	5 年	電気電子創造	砂田 瑞樹	学術研究活動において下記の優れた業績を挙げ、本校の名誉を高めた。 1.学術研究活動とその積極的な成果発表（国内学会2件） 2.2019年度高専ワイヤレスIoT技術実証コンテストへの応募、一次審査突破、プレゼンテーション審査での発表（プレゼンターとして登壇） 3.日常的な自己研鑽、幅広い知識習得、他者へのサポートなどの卒研生としての模範的な姿勢	奨励賞	個人
162	5 年	電気電子創造	関美 佑奈	関東信越地区体育大会バドミントン競技女子団体準優勝	奨励賞	団体
163	5 年	電気電子創造	竹澤 日都	青嵐寮（小山高専学生寮）令和元年度前期および後期指導生として、その任務を全うした。	奨励賞	個人
164	5 年	電気電子創造	塚越 統哉	高専ロボコン2019 関東甲信越地区大会にてBチームは優勝、Aチームは準優勝に入賞。 さらに、Bチームは高専ロボコン2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、Aチームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員がA、Bチームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
165	5 年	電気電子創造	塚越 統哉	5年間ロボコンプロジェクト活動に積極的に参加し大会では優秀な成績を収めた。さらに、それらの経験を活かし、県内外でのロボット実演活動を通じて全国的な高専ロボコンのPR活動、および地域の様々な科学技術イベント、小中学校、科学館等における教育・文化の支援活動において多に貢献した。	功績賞	個人
166	5 年	電気電子創造	原田 遊	高専ロボコン2019 関東甲信越地区大会にてBチームは優勝、Aチームは準優勝に入賞。さらに、Bチームは高専ロボコン2019 全国大会へ出場し準優勝に入賞。また、Aチームも競技会推薦枠を獲得し全国大会へ出場。プロジェクトメンバー全員がA、Bチームの枠を越えてロボット製作活動を行った。	優秀賞	団体
167	5 年	電気電子創造	原田 遊	5年間ロボコンプロジェクト活動に積極的に参加し大会では優秀な成績を収めた。さらに、それらの経験を活かし、県内外でのロボット実演活動を通じて全国的な高専ロボコンのPR活動、および地域の様々な科学技術イベント、小中学校、科学館等における教育・文化の支援活動において多に貢献した。	功績賞	個人
168	5 年	電気電子創造	廣井 悠介	令和元年12月15日（日）に福島県稲葉遠隔技術開発センターにおいて開催された「第4回廃炉創造ロボコン」において、本学生チーム（ロボット名：サンダーベルトV）が「優秀賞（福島県知事賞）」を受賞した。令和元年8月25日（日）に神奈川県立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部で開催された「水中ロボットコンベンション in JAMSTEC2019-海と日本プロジェクト-」、フリー部門において本学生チーム（ロボット名：マリダピンチコプター）が「準優勝」に入賞した。	優秀賞	団体
169	5 年	電気電子創造	福増 武	令和元年12月15日（日）に福島県稲葉遠隔技術開発センターにおいて開催された「第4回廃炉創造ロボコン」において、本学生チーム（ロボット名：サンダーベルトV）が「優秀賞（福島県知事賞）」を受賞した。令和元年8月25日（日）に神奈川県立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部で開催された「水中ロボットコンベンション in JAMSTEC2019-海と日本プロジェクト-」、フリー部門において本学生チーム（ロボット名：マリダピンチコプター）が「準優勝」に入賞した。	優秀賞	団体
170	5 年	電気電子創造	藤本 辰紀	令和元年12月15日（日）に福島県稲葉遠隔技術開発センターにおいて開催された「第4回廃炉創造ロボコン」において、本学生チーム（ロボット名：サンダーベルトV）が「優秀賞（福島県知事賞）」を受賞した。令和元年8月25日（日）に神奈川県立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部で開催された「水中ロボットコンベンション in JAMSTEC2019-海と日本プロジェクト-」、フリー部門において本学生チーム（ロボット名：マリダピンチコプター）が「準優勝」に入賞した。	優秀賞	団体
171	5 年	電気電子創造	古井 海里	学術研究活動において下記の優れた業績を挙げ、本校の名誉を高めた。 1.電子情報通信学会通信ソサイエティネットワークワークショップ研究会における、若手研究者の年間研究発表を賞する「若手研究奨励賞」を受賞。 2.本年度、3つの国内学会へ投稿・発表を行い、成果を対外的にアピールした。 3.指導教員から見ても大学院生にも劣らないと言える、優れた研究を行っている。	優秀賞	個人
172	5 年	電気電子創造	松山 凌	米国電気学会（IEEE）の CASSociety の台湾セクションおよび日本セクションが相互に開催する電子回路とシステムの国際会議 TJCAS2019 (The5thTaiwanandJapanConferenceonCircuitsandSystems) において、投稿論文発表を行い、学生奨励賞 (StudentEncouragementAward) を受賞した。	優秀賞	個人
173	5 年	電気電子創造	森尾 孟倫	大学コンソーシアムとちぎ学生&企業研究発表会企業賞受賞	優秀賞	個人
174	5 年	電気電子創造	山本 輝弥	大学コンソーシアムとちぎ学生&企業研究発表会企業賞受賞	優秀賞	個人
175	5 年	物 質	秋山 直輝	関東信越地区体育大会バドミントン競技男子団体優勝	優秀賞	団体
176	5 年	物 質	秋山 直輝	関東信越地区体育大会バドミントン競技男子シングルス優勝 全国高等専門学校体育大会バドミントン競技男子シングルス準優勝 全国高等専門学校体育大会バドミントン競技男子ダブルス第3位	優秀賞	個人
177	5 年	物 質	柴田 真輝	関東信越地区体育大会バドミントン競技男子団体優勝	優秀賞	団体
178	5 年	物 質	柴田 真輝	全国高等専門学校体育大会バドミントン競技男子ダブルス第3位	優秀賞	個人
179	5 年	物 質	田中 惇	第53回工農祭の実行委員会の全体補佐として、主に設備局を中心として、全般のサポートを行い、工農祭を成功に導いた。	奨励賞	個人
180	5 年	物 質	田中 陽大	第56回関東信越地区高等体育大会陸上競技大会「男子総合第2位」。	奨励賞	団体
181	5 年	物 質	三上つき乃	第16回学生&企業研究発表会（大学コンソーシアムとちぎ）において、ポスター最優秀賞を受賞。	優秀賞	個人
182	5 年	建 築	江島ありさ	前回工農祭の実行委員会の企画長として、企画運営のサポートを全面的に行い、工農祭を無事成功に導いた。	奨励賞	個人
183	5 年	建 築	小倉 大空	青嵐寮（小山高専学生寮）令和元年度前期および後期指導生として、その任務を全うした。	奨励賞	個人
184	5 年	建 築	鈴木 佐輝子	第54回全国高等専門学校体育大会兼第52回全国高等専門学校サッカー選手権大会第3位	優秀賞	団体
185	5 年	建 築	武部 大夢	全国高等専門学校デザインコンペティション空間部門において、予選133の応募作品の中から、上位10作品に選定され、全国大会へ出場した。	優秀賞	団体
186	5 年	建 築	遠山 尚子	青嵐寮（小山高専学生寮）令和元年度前期および後期指導生として、その任務を全うした。	奨励賞	個人
187	5 年	建 築	戸張 千聖	第54回全国高等専門学校体育大会兼第52回全国高等専門学校サッカー選手権大会第3位	優秀賞	団体
188	5 年	建 築	長岡 稜太	青嵐寮（小山高専学生寮）令和元年度前期および後期指導生として、その任務を全うした。	奨励賞	個人
189	5 年	建 築	長岡 稜太	全国高等専門学校デザインコンペティション空間部門において、予選133の応募作品の中から、上位10作品に選定され、全国大会へ出場した。	優秀賞	団体
190	S1 年	電気電子創造工学科	伊澤 優太	国際会議 International Council on Electrical Engineering (ICEE) Conference 2019 (2019/7/3-5) において、国内外の研究者や大学院生に交じり、筆頭者として、ポスター発表を行い、高い評価を受けた。また、公益財団法人長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会令和元年度研究助成に、小山高専の学生として初めて採択され、下野新聞に本件の記事が掲載されるなど、他の学生の模範となるような学術研究活動を行い、本校の名誉を高めた。	優秀賞	個人
191	S1 年	電気電子創造工学科	椿 規良	「つくばチャレンジ2019 シンポジウム」において自身の研究をポスター形式で発表した。Normal Distributions Transform の動的な領域分割による大域的自己位置推定の新たな提案を、大学や一般の関係者に対し、わかりやすく正確に説明した。	奨励賞	個人
192	S1 年	電気電子創造工学科	藤倉 駆	第16回学生&企業研究発表会において研究奨励賞を受賞した。	奨励賞	個人
193	S1 年	電気電子創造工学科	松本 貴志	第16回学生&企業研究発表会において研究奨励賞を受賞した。	奨励賞	個人
194	S1 年	物質工学科	矢島 夏海	2018年の国際会議 STI-Gigaku、2019年の同国際会議において、2年連続で Best Poster Award を受賞。	優秀賞	個人
195	S1 年	物質工学科	吉田 開斗	国際会議 The 4th International Symposium on Process Chemistry 2019 (ISPC2019) に査読を経て受理され、英語によるポスター発表を行いました。国際会議 The 12th European Congress of Chemical Engineering (ECCE12) with the 5th European Congress of Applied Biotechnology (ECAB5) 合同大会において、査読を経て発表が受理され、世界各国の研究者と並んでのポスター発表を成功させた。第10回福島地区 CE セミナーでは、大学生と並んでポスター発表を行い、ポスター発表優秀賞を受賞した。	奨励賞	個人
196	S2 年	電気電子創造工学科	木村 優太郎	第20回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会において研究発表を行ない、口頭発表において優秀講演賞を受賞した。また、本科より学生会に所属し、技術局初代局長をつとめ、活躍してきた。	優秀賞	個人
197	S2 年	電気電子創造工学科	齋藤 光	第16回学生&企業研究発表会において研究奨励賞を受賞した。	奨励賞	個人
198	S2 年	物質工学科	勝 悠奈	・第16回学生&企業研究発表会（大学コンソーシアムとちぎ）において、企業特別賞（タスク賞）受賞。 ・公益財団法人加藤科学振興会令和元年度研究奨励金採択。	優秀賞	個人
199	S2 年	物質工学科	田崎 朱里	・第16回学生&企業研究発表会（大学コンソーシアムとちぎ）において、部門別最優秀賞（金賞）受賞。	優秀賞	個人
200	S2 年	物質工学科	藤崎 智行	第一著者として投稿した英文原稿が、Wiley社が刊行する Chemical Engineering & Technology 誌 (Impact Factor: 2.418) に掲載された (Chem. Eng. Technol., 2019, 42, 910-917)。また、研究活動と留学における成果が評価され、日本高専学会研究奨励賞優秀賞を受賞した。英国王立化学会 Royal Society of Chemistry が刊行する RSC Advances 誌 (Impact Factor: 3.049) に、第一著者となつてまとめた論文が査読を経て受理され、掲載された (RSC Advances, 2019, 9, 33080-33095)。第10回福島地区 CE セミナーでは、大学生と並んで口頭発表を行い、口頭発表優秀賞を受賞した。	優秀賞	個人

高専ロボコン2019全国大会

ロボコン2019全国大会に出場して

機械工学科2年 清水 由彦

今年の小山高専Bチームは安定性したロボットの動きで地区大会を制したことから、全国大会でも優勝を狙える自信がありました。しかし、その自信は他の地区大会を見た瞬間に消え去りました。強豪校の中にはバスタオルを引き寄せて妨害をするチームもあり、このままでは勝てないという焦りを感じていました。慌ててロボットの改良に着手しましたが、完全に妨害対策をするには時間が足りず、勝ちへの明確なビジョンが描けないまま全国大会に臨むこととなりました。大会直前、私達の不安を察した先生方から「君らの強み

は安定性だ」という言葉に励まされ、練習通りのパフォーマンスを全試合で見せようと気持ちを切り替えました。

そして大会当日、ロボットの不調に泣くチームもある中で私達のロボット「ホシ鳥夫婦」は全試合満点を達成し、優勝することはできませんでしたが、安定性の高さを披露することができたと思います。

最後に応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。来年は全国優勝を目標に頑張りたいと思います、これからも応援よろしくをお願いします。



全国高等専門学校デザインコンペティション

デザコンに参加して

私は今回建築デザインコンペティションに5年生の先輩方2名と3年生の後輩1名、計4人で参加しました。今回の空間部門のテーマは【多文化共生の創出】というもので、先輩方の卒業設計内容とはまた違った方向へ進んだため先輩方も、後輩である私達もとても悩みました。そんな中で印象に残った出来事が2つあります。

まず1つ目は1次審査を、通り改めてコンセプトを見直す話になった時です。この時私たちは思い切って設定した敷地に住む外国人にインタビューに行ったことです。運良くある程度日本語がわかる方に出会えて私たちが設計しているもの経緯目指しているものを共有しました。実際に聞きに行くことでまだ説明ができてないところや欠陥がある場所というのがよくわかったいい機会でした。



建築学科4年 アバロス 隆司 アンドレエ

そして2つ目が2次審査の時のプレゼンテーションです。プレゼンテーションが終わったあと審査員から直接質問があるのですがその時の質問に全員が固まってしまいました。実はチームの中で話し合っていて納得しているようでまだ深く掘り下げられていない部分でした。この時とても悔しくてどうすればその質問に答えられるか、次の日にあるポスターセッションに備えて会場に残って話し合いました。

私たちのデザインコンペティションは2次審査まで行ったもののふるわない結果に終わってしまいましたが、私たちに何が足りなくて逆に何に強いのかよく理解することが出来ました。今回手伝いという形ではなくチームの設計に携われる機会を下さった先輩方に感謝します。ありがとうございました。



第34回 関東信越地区高等専門学校英語弁論大会

英語弁論大会に参加して

私は、「Taking the Sting Out of Jellyfish」という題名でレシテーション部門に出場しました。クラゲについて、様々な観点から見た事を発表しました。緊張で人前に立って何かをするということが苦手だったのですが、先生に出場して欲しくないかと依頼された時、苦手意識が克服できるかもしれないと思い引き受けることにしました。

私は、昔から英文を読み上げる時、早口になってしまう癖があり、詰まってしまう事が何度かありました。しかし、先

物質工学科2年 問宮 直大

生が「スピーチだからただ発音よく話すだけじゃなく、相手に自分の思いが伝わるようにゆっくり話した方が良いよ」と指導していただいたおかげで詰まることがなくなり、本番では堂々と丁寧にスピーチすることができました。

結果としては入賞できず、残念な結果となってしまったのですが、終わった後に挑戦した者しか味わえない達成感を感じることができました。これからも多くのことに進取果敢に取り組んでいきたいです。



令和元年度（令和2年3月卒業・修了生）の主な就職先

令和2年2月末現在

機械工学科	セイコー NPC 株式会社 那須塩原事業所	建築学科
ANA ラインメンテナンステクノクス株式会社	セキスイハイム工業株式会社 東京事業所	アイニング株式会社
株式会社小松製作所	株式会社セゾン情報システムズ	株式会社 MBM
JX 金属株式会社	ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社	川田工業株式会社
株式会社 JAL エンジニアリング	ダイキン工業株式会社	グランディハウス株式会社
新明和工業株式会社	ダイソー株式会社	ココヨ株式会社
セイコーエプソン株式会社	東海旅客鉄道株式会社	株式会社システム設計事務所
DMG 森精機株式会社	東京ガス株式会社	大日本土木株式会社
電源開発株式会社	東武インターテック株式会社	電源開発株式会社
東京ガス株式会社	東レ株式会社	東レ建設株式会社
株式会社ナカニシ	株式会社栃木ニコンプレジジョン	栃木セキスイハイム株式会社
株式会社日産オートモーティブテクノロジー	ネクサート株式会社	西松建設株式会社
日本貨物鉄道株式会社	パナソニック株式会社 オートモーティブ社	日本メックス株式会社
日立造船株式会社	株式会社日立ハイテクファインシステムズ	株式会社ビームス・デザイン・コンサルタント
株式会社日立ハイテクフィールドイング	富士ファイバークラス株式会社	株式会社フクタ設計
ファナック株式会社	本田技研工業株式会社	フジタビルメンテナンス株式会社
本田技研工業株式会社	マブチモーター株式会社	専攻科
株式会社牧野技術サービス	有限会社幹空間工房	工機ホールディングス株式会社
マレリ株式会社	有限会社 夢玄社	日本原子力研究開発機構
電気電子創造工学科	物質工学科	出光興産株式会社
アイピーロジック株式会社	旭化成株式会社	小山鋼材株式会社
NTT 東日本グループ会社〈エンジニア〉	石福金属興業株式会社	株式会社小松製作所
NTT データ先端技術株式会社	出光興産株式会社	ソニー LSI デザイン株式会社
株式会社 NTT 東日本関信越	花王コスメプロダクツ小田原株式会社	日信ソフトエンジニアリング株式会社
株式会社オウルテック	東京消防庁	日本アルゴリズム株式会社
株式会社オートテックジャパン	東レ株式会社	旭化成カラーテック株式会社
オープンテクノロジー株式会社	日清紡ホールディングス株式会社	株式会社資生堂 那須工場
花王株式会社	ニッポー株式会社	龍田化学株式会社
ギガフォトン株式会社	株式会社日本色材工業研究所	積水ハウス株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社	日本ゼオン株式会社	株式会社乃村工藝社
ケーブルテレビ株式会社	日本電解株式会社	プラチナゲームズ株式会社
株式会社小松製作所	日本薬品工業株式会社	
埼玉県庁	富士石油株式会社	
三桜工業株式会社	株式会社三井化学分析センター	
株式会社システムエクゼ	森永乳業株式会社 利根工場	
株式会社資生堂	株式会社 LIXIL	
株式会社 SCREEN PE エンジニアリング		

令和元年度（令和2年3月卒業・修了生）の主な進学先

機械工学科	物質工学科	日本大学
小山高専専攻科	小山高専専攻科	前橋工科大学
群馬大学	宇都宮大学	三重大学
千葉工業大学	岐阜大学	室蘭工業大学
東京農工大学	群馬大学	横浜国立大学
東北大学	筑波大学	専攻科
電気電子創造工学科	東京工業大学	九州工業大学大学院
小山高専専攻科	東京農工大学	東北大学大学院
茨城大学	豊橋技術科学大学	筑波大学大学院
宇都宮大学	長岡技術科学大学	電気通信大学大学院
群馬大学	建築学科	奈良先端科学技術大学院大学
千葉工業大学	小山高専専攻科	横浜国立大学大学院
千葉大学	愛知工業大学	
筑波学院大学	宇都宮大学	
筑波大学	鹿児島大学	
東京工業大学	工学院大学	
東京農工大学	首都大学東京	
豊橋技術科学大学	筑波大学	
長岡技術科学大学	豊橋技術科学大学	